



故 齋藤 篤先生

公益社団法人日本化学療法学会 名誉会員

生年月日 1934年1月12日

逝去 2024年7月14日

## 齋藤 篤先生 ご略歴

---

### 【略 歴】

- 1959年 東京慈恵会医科大学卒業
- 1960年 東京慈恵会医科大学第四内科（後に第二内科）助手
- 1969年 医学博士の学位を受領
- 1972年 東京慈恵会医科大学第三内科（後に第二内科）講師
- 1987年 東京慈恵会医科大学第二内科助教授
- 1991年 東京慈恵会医科大学附属柏病院総合内科に移籍，  
東京慈恵会医科大学附属柏病院総合内科教授に就任
- 1999年 東京慈恵会医科大学退任，客員教授

### 【学会歴・学術講演会歴】

- 1969年 評議員
- 1989年 理事
- 1992年 第39回日本化学療法学会東日本支部総会会長
- 1995年 監事
- 1997年 東日本支部長，理事
- 1997年 第45回日本化学療法学会総会会長
- 2004年 名誉会員

## 齋藤 篤先生を偲んで

2024年7月14日、齋藤 篤先生が90歳でご逝去されました。齋藤先生は1969年より評議員として、また1989年から1992年、1997年から2002年まで理事として、日本化学療法学会の発展に大きく貢献されました。さらに、1992年には第39回日本化学療法学会東日本支部総会、1997年には第45回日本化学療法学会総会を総会長として開催されました。

先生は1960年に東京慈恵会医科大学第四内科（上田 泰教授主宰）に入局され、以来、感染症や化学療法の分野を中心に診療・研究にご尽力されました。上田教授からの信頼も厚く、尿路感染症、抗菌薬の体内動態、腎毒性などの研究で多くの業績を挙げられました。

1991年には東京慈恵会医科大学附属柏病院総合内科の開設に際して同院に赴任され、教授として感染症のみならず幅広い内科疾患の診療に携わられるとともに、多くの若手医師や研修医の教育・指導にも力を注がれました。

私と齋藤先生との直接のご縁は、1987年6月に私が東京慈恵会医科大学第二内科に入局した時に始まりました。当時は研究班も未定で、齋藤先生は医局の大先輩でいらっしゃいました。その後、私は関連病院に出向し、臨床細菌班に所属することを決めて大学に戻った時には、先生は柏病院に移られる直前でした。このように在局時期はすれ違いが多かったものの、学会や研究会でご一緒させていただいた際には、いつも笑顔で温かく声をかけてくださいました。私が臨床細菌班に入った頃は3年に1人程度の加入でしたが、幸いにも私の3年後からは毎年感染症を志す医局員が加わるようになり、研究班の仲間が増えていきました。そのことを先生は大変喜ばれ、研究班の発展を温かく見守り、励ましてくださいました。

晩年は学会へのご出席の機会も少なくなり、お目にかかれることが減ってしまったのが残念でなりません。ここに先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。齋藤先生、長年にわたりご指導いただき、本当にありがとうございました。

東京慈恵会医科大学客員教授  
吉田正樹